

## 掲 示 板

- ・平成24年度 夏期スクーリングの開講について
- ・MELOP継続利用申請について
- ・教職総合演習の開講について
- ・平成24年度 単位修得試験日程について
- ・平成24年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について
- ・学費の分納について（前期生対象）
- ・単位修得試験（8月試験）の実施について
- ・卒業生だより
- ・行事予定（6月・7月）

### 注 意 事 項

1. 事務取扱時間  
月～土曜日 9：00～17：00  
日曜日 休み（ただし、単位修得試験やスクーリング等の  
行事のある場合は、その行事の開催時間に応じて  
事務の取扱いを行います。）
2. 電子メールの宛先  
csoffice@ogu.ac.jp  
電子メール（書面も含む）での問い合わせには、必ず学籍番号  
と氏名を明記してください。
3. ホームページによるシラバスの閲覧について  
各授業科目のシラバスはホームページよりご確認ください。  
なお、自宅にホームページを閲覧できる環境のない方は、通信  
教育部事務室にお問い合わせください。  
ホームページアドレス  
<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>

## 掲 示 板

### . 平成24年度 夏期スクーリングの開講について

#### 1. 日程および時間割

##### 【第 期】

（開講期間：7月26日～7月31日）

開講期間	講時				
	時間				
	9:00 } 10:30	10:40 } 12:10	13:10 } 14:40	14:50 } 16:20	16:30 } 18:00
7月26日(木)	オリエンテーション	情報基礎演習(戸田健太郎) ドイツ語(志田章) 商業史(杉本公彦) 簿記原理A(船本修三)	情報基礎演習(戸田健太郎) 英語(田辺久美子) 商業学(地引淳) 会计学(田中延幸) 経営分析(安川文夫)	情報基礎演習(戸田健太郎) 英語(田辺久美子) 商業学(地引淳) 会计学(田中延幸) 経営分析(安川文夫)	
7月27日(金) } 7月30日(月)	情報基礎演習(戸田健太郎) ドイツ語(志田章) 商業史(杉本公彦) 簿記原理A(船本修三)	情報基礎演習(戸田健太郎) 英語(田辺久美子) 商業学(地引淳) 会计学(田中延幸) 経営分析(安川文夫)			
7月31日(火)	予 備 日				

(注) 1. 7月30日(月)・講時に、スクーリング単位修得試験を実施します。

2. ( )内は担当者を示す。

##### 【第 期】

（開講期間：8月2日～8月7日）

開講期間	講時				
	時間				
	9:00 } 10:30	10:40 } 12:10	13:10 } 14:40	14:50 } 16:20	16:30 } 18:00
8月2日(木) } 8月6日(月)	情報処理演習(本多剛) ドイツ語(神谷善弘) 商業史(水原正亨) 簿記原理A(田中延幸) 財務諸表論(奥田真也) 流通政策(加茂英司)	情報処理演習(本多剛) 英語(宇治田勝) スポーツ実習(山内武) マーケティング論(金丸輝康) 会计学(郡司健) 税務会計論(小倉康三)			
8月7日(火)	予 備 日				

(注) 1. 8月6日(月)・講時に、スクーリング単位修得試験を実施します。

2. ( )内は担当者を示す。

---

---

## 掲 示 板

---

---

### 2. スクーリング単位修得試験受験の要件

各科目の授業時間数は1日連続2講時、5日間で10講時です。スクーリング単位修得試験の受験には全講時出席が必要で、1講時でも欠席があると受験できません。

### 3. スクーリング受講手続について

次の方式で受講手続を行います。

- (1) スクーリング参加申込書等、必要書類を大学に送付〔機関誌24年5月号巻末の「2012スクーリングの手引き」をご覧ください。〕
  
- (2) 大学から個々の受講料等の金額を印字した「納付書」の送付
  
- (3) 送付された納付書により各自が銀行窓口で振込

納付書の「振込証明書」部分を大学に送付

### 4. 受講申込受付期間

平成24年6月18日(月)～6月29日(金)

### 5. 参加費用

- (1) 参加手数料 1,500円
- (2) 受講料 1科目 4,000円

### 6. 振込証明書提出期日

平成24年7月9日(月)

## ・MELOP継続利用申請について

過去に夏期スクーリングにおいて「情報基礎演習」・「情報処理演習」を受講した方は、「MELOP会員」となっており、本学の情報処理関係機器の利用が自由となっています。但し、年度毎に継続利用申請が必要ですので、利用希望の方は返信用封筒(80円切手貼付)を同封の上、紙片に「MELOP継続利用申請書請求」と明記し、通信教育部事務室まで請求してください。

---



---

## 掲 示 板

---



---

### ・教職総合演習の開講について

教職総合演習を次のとおり開講します。受講予定の方は所定の手続きを行ってください。

#### 1. 開講期間

**平成24年7月26日(木)～7月30日(月)【5日間】**

#### 2. 講義時間と講義内容

開講日	講時	時間帯	講義内容
7月26日(木)	1	9:00～10:30	第1回 総合的学習とは？
	2	10:40～12:10	第2回 日本人にとって、異文化理解のハードルとは？
7月27日(金)	1	9:00～10:30	第3回 異文化理解の基礎としての風土・歴史(スイス国を事例として)
	2	10:40～12:10	第4回 興味あるテーマについての探究活動
7月28日(土)	1	9:00～10:30	第5回 「いのち」にまつわる諸問題
	2	10:40～12:10	第6回 いじめ、自殺と「いのち」
7月29日(日)	1	9:00～10:30	第7回 青少年問題と「いのち」
	2	10:40～12:10	第8回 生命倫理と「いのち」
7月30日(月)	1	9:00～10:30	第9回 「国際理解」の発表
	2	10:40～12:10	第10回 全体試験

#### 3. 受講申込手続

便箋等に「教職総合演習受講希望」の旨を記入し、返信用封筒（宛名明記・80円切手貼付）を同封して通信教育部まで受講申込書を請求してください。（「教職総合演習受講申込書」はホームページからもダウンロードできます。）

#### 4. 受講申込締切日

**平成24年7月9日(月)必着**

---

---

**掲 示 板**

---

---

**・平成24年度 単位修得試験日程について**

平成24年度の単位修得試験日程は下表のとおりです。

試 験 日	レポート提出締切日	受験申込受付期間
H24. 6 .17(日)	H24. 5 . 7 (月)	H24. 5 .21(月) ~ H24. 5 .25(金)
H24. 8 .19(日)	H24. 7 . 9 (月)	H24. 7 .23(月) ~ H24. 7 .27(金)
H24.11.25(日)	H24.10.22(月)	H24.11. 5 (月) ~ H24.11. 9 (金)
H25. 2 . 3 (日)	H25. 1 . 7 (月)	H25. 1 .15(火) ~ H25. 1 .18(金)

**旧履修について**

「単位修得試験問題範囲番号表」に旧とある授業科目は、平成24年度からテキストを変更したため、平成23年度および平成23年度以前の履修登録者を対象に1年間を限度として、平成23年度レポート課題によるレポート提出および平成23年度単位修得試験問題による受験を認めています。「旧履修」はこの制度のことを表わします。

---



---

 掲 示 板
 

---



---

## ・平成24年度 リポート提出日と添削後の返送予定(目安)について

通信教育のリポートは第4種郵便の適用を受けており、通常(第1種)の郵便よりも到着するまでに日数を要します。また、土日祝日等における郵便配達の都合上、リポート到着が下表の予定日より遅れる場合も多々あります。

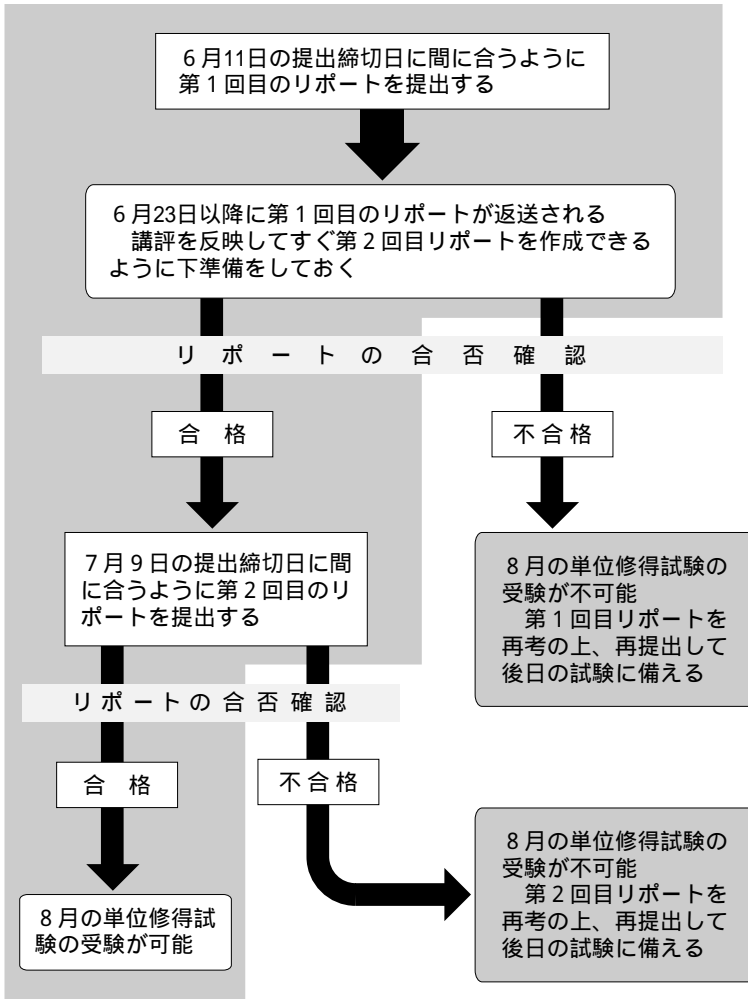
その点を考慮した上でリポートを提出するようにしてください。特に、同一科目で第1回目リポートの合格直後に第2回目リポート提出の際、上記のケースにより間に合わない可能性が多分にありますのでご注意ください。

リポート提出締切日 (事務室受付期間)	提出者の手元へ	リポート提出締切日 (事務室受付期間)	提出者の手元へ
H24.5.28(月) (H24.5.8~5.28)	H24.6.9(土)	H24.11.5(月) (H24.10.23~11.5)	H24.11.17(土)
H24.6.11(月) (H24.5.29~6.11)	H24.6.23(土)	H24.11.26(月) (H24.11.6~11.26)	H24.12.8(土)
H24.6.25(月) (H24.6.12~6.25)	H24.7.7(土)	H24.12.10(月) (H24.11.27~12.10)	H24.12.22(土)
H24.7.9(月) (H24.6.26~7.9)	H24.7.21(土)	H25.1.7(月) (H24.12.11~H25.1.7)	H25.1.12(土)
H24.7.30(月) (H24.7.10~7.30)	H24.8.18(土)	H25.1.15(火) (H25.1.8~1.15)	H25.1.26(土)
H24.8.20(月) (H24.7.31~8.20)	H24.9.1(土)	H25.2.12(火) (H25.1.16~2.12)	H25.2.23(土)
H24.9.10(月) (H24.8.21~9.10)	H24.9.22(土)	H25.3.11(月) (H25.2.13~3.11)	H25.3.23(土)
H24.10.1(月) (H24.9.11~10.1)	H24.10.13(土)	H25.3.29(金) (H25.3.12~3.29)	H25.4.10(水)
H24.10.22(月) (H24.10.2~10.22)	H24.11.3(土)		

事務局が閉局あるいは職員が不在の時に、リポート提出のつもりでカウンターの上や事務局前などに置いて帰っても当方では受付できません。もしそれに基づくトラブルが生じて、当局では一切責任を負えません。

掲 示 板

例) 平成24年 8月19日実施の単位修得試験で、特定の4単位科目を受験するために、最短期間でレポートを提出する場合



---

---

**掲 示 板**

---

---

**. 学費の分納について ( 前期生対象 )**

前期生 ( 4 月入学 ) で平成24年度の学費分納者は、2 回目の納付期限が平成24年7月31日(火)となっています。納付期限までに納付してください。

なお、納付金額など不明な点があれば、通信教育部事務室まで問い合わせてください。



**キャンパス内全面禁煙**



## 掲 示 板

### ．単位修得試験（8月試験）の実施について

単位修得試験を次の要領で実施します。受験希望者は、所定の手続きを行って受験してください。

#### 1. 試験日時

平成24年8月19日(日)10:00～16:00（本学・学外試験場）

#### 2. 場 所

- (1) 本 学
- (2) 学外試験場

札幌、福島、東京、富山、浜松、名古屋、和歌山、姫路、鳥取、岡山、広島、高松、松山、高知、福岡、長崎、熊本、鹿児島 以上18試験場  
学外の試験場は、「受験票」返送の際に受験者個々に連絡します。

#### 3. 時 間 割

講時	時間	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名
1	10:00 ∪ 11:40	0100	哲学概論	1202	経営管理論	1658	民法
		0107	倫理学概論	1437	基本経済学	8002	医療経営情報論
		0126	地域地理学	1013	●国際マーケティング論	5029	●教育原理
		0203	現代憲法A	1061	国際会計論	5030	教育原理
		0204	現代憲法B	1407	金融経済論	5013	同和教育
		0319	心理学概論	1439	財政学	5060	教師論
		1056	原価計算論	1625	税法		
2	12:20 ∪ 14:00	0200	経済学概論	1005	流通政策	1667	商法
		0202	法学概論	1058	会計監査論	8001	医学一般
		0314	地球の科学	1059	●税務会計論	5001	●教育心理学
		0317	統計学概論	1009	商業数学	5004	商業科教育法
		0409	生涯スポーツ論	1203	経営統計学	5010	特別活動
		1000	商業学	1206	経営財務論	5061	商業科教育法
1004	国際貿易論	1657	民法	5062	商業科教育法		
3	14:20 ∪ 16:00	0109	歴史	1055	財務諸表論	8003	病院経営会計
		0115	文学概論	1060	経営分析	8004	福祉経営情報論
		0215	現代文化論	1200	経営学	8005	医療福祉経営論
		0216	政治学概論	1010	外国為替論	5002	教育方法学
		0304	生命の科学	1205	生産管理論	5011	生徒指導の研究
		0325	現代物理学	1210	経営組織論	5015	職業指導
		0408	健康と運動	1212	経営学史	5071	進路指導概論
		1003	マーケティング論	1668	商法		

- (注) 1. 各講時(100分)において2科目まで受験できます。  
 2. 1科目の試験時間は50分間です。  
 3. 各講時内で1科目のみ受験する場合も、必ず開始時間までに試験場へ入場してください。  
 4. ●印の科目は教科書が変更されました。平成23年度以前に登録した者で、旧問題での受験希望者は受験申込時にその旨明記する必要があります。

---

---

## 掲 示 板

---

---

### 4. 試験問題

大阪学院大学通信教育部HP(<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>)より、『開講科目』をクリックし、更に『シラバス』をクリックして、受験する科目の「講義要項(Syllabus)」を選べば、問題が確認できます。

### 5. 試験範囲

次頁の「単位修得試験問題範囲番号表(8月試験)」を参照してください。

### 6. 受験資格

次の(1)~(3)を満たしていることが条件となります。

- (1) 学費を納付していること。
- (2) 受験する科目を履修登録していること。
- (3) 2単位科目はレポートが合格していること。また、4単位科目は第1回・第2回のレポートが合格していること。

### 7. 手続書類

- (1) 単位修得試験受験申込書(本誌巻末に添付)
- (2) 返信用封筒(宛名明記・80円切手貼付)

### 8. レポート提出締切日

**平成24年7月9日(月)必着**

### 9. 受験申込受付期間

**平成24年7月23日(月)~7月27日(金)必着**

---



---

 掲 示 板
 

---



---

**単位修得試験問題範囲番号表（8月試験）**

試験日：平成24年8月19日（日）

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
哲学概論	2 6 10	商業学	4 5 6	商業数学	2 6 10 13 17
倫理学概論	8 9 10	マーケティング論	4 5 9	外国為替論	7 8 9 10 11
歴史	4 5 6	国際貿易論	3 4 5	国際マーケティング論	4 5 6 15 16
文学概論	3 7 10	流通政策	4 5 6	旧国際マーケティング論	5 6 7 8 9
地域地理学	4 5 9	財務諸表論	2 6 9	国際会計論	1 4 8 9 18
経済学概論	4 5 6	原価計算論	5 6 8	経営統計学	2 7 9 14 20
法学概論	2 3 9	会計監査論	4 9 10	生産管理論	6 7 8 9 10
現代憲法A	6 7 8	税務会計論	5 6 7	経営財務論	6 7 8 9 10
現代憲法B	4 5 6	旧税務会計論	2 6 10	経営組織論	1 2 4 6 13
現代文化論	4 5 6	経営分析	2 7 10	経営学史	6 7 8 9 10
政治学概論	2 4 6	経営学	4 5 6	金融経済論	2 6 10 14 18
生命の科学	2 4 6	経営管理論	3 4 10	財政学	6 7 8 9 10
地球の科学	5 7 10	基本経済学	4 5 6	税法	6 7 8 9 10
統計学概論	2 6 10	医学一般	4 5 6	民法	2 8 12 15 19
心理学概論	1 2 3	医療経営情報論	2 6 8	民法	3 6 12 13 16
現代物理学	2 4 7	病院経営会計	3 9 10	商法	6 7 8 9 10
健康と運動	4 6 8	福祉経営情報論	4 5 6	商法	6 7 8 9 10
生涯スポーツ論	2 5 8			医療福祉経営論	2 6 10 14 18

**教職課程科目〔旧課程〕**

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教育原理	3 4 5	特別活動	4 5 6	職業指導	6 7 8 9 10
旧教育原理	4 5 6	教育方法学	3 4 5		
教育心理学	2 5 7	生徒指導の研究	2 5 9		
旧教育心理学	2 4 9	同和教育	4 5 6		
教育原理	4 5 6				
商業科教育法	5 6 7				

**教職課程科目〔新課程〕**

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教師論	4 5 6	商業科教育法	5 6 7	職業指導	6 7 8 9 10
教育原理	3 4 5	特別活動	4 5 6		
旧教育原理	4 5 6	教育方法学	3 4 5		
教育心理学	2 5 7	生徒指導の研究	2 5 9		
旧教育心理学	1 6 8	進路指導概論	4 5 6		
教育原理	4 5 6	同和教育	4 5 6		
商業科教育法	5 6 7				

注．試験問題は、通信教育部ホームページよりシラバスを参照してください。授業科目の前に「旧」のある場合は「シラバス2012」で確認してください。

**各科目範囲番号より1題が出題されます。**

通信教育部ホームページを閲覧できる環境のない方につきましては、紙ベースのシラバスを送付しますので、宛名を明記した紙片と120円切手を同封して通信教育部事務室までお送りください。

---

---

## 掲 示 板

---

---

### ・卒業生だより

平成24年3月19日に卒業された先輩方から、メッセージが届いております。勉学を続ける上での参考にしてください。

#### 衣笠 裕子

#### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

通信教育を始めたまっかけは、子供も成人し、親の介護も終わった時点で、これからは自分の時間を持って通信教育を始めようと、思いました。

今年は、在籍期間最後の年となり2月の試験で、無事126単位を取得できました。

最後まで諦めずマイペースでやってきたのでかなりの日数を要しましたが達成するまで頑張って良かったです。

振り返れば2年目、病気(癌)で、大手術、闘病生活を送りながら最低家事をしなくてはならないので、大変でしたが、どちらにしても様々な方が、様々な事情を抱えて、同じ目標に向かって頑張っています。

通信教育の方は病後、手付かずだったが翌年からは、スクーリングから始めようと思いました。スクーリングにおいては、単位取得試験とは違い、当校の通信生が本校で受講されるので、当時、受講会場は満員のクラスもありました。飛行機で往復されている方、フェリーで往復の方、様々です。地方の方は、苦勞されて来られているのです。

スクーリングの利点は、履修に関しての情報を聞けたりすると、レポートの書き方等も人それぞれ違うので、情報交換してそれらを参考にして自分なりのレポートを書いたり、又、簿記原理・情報演習を履修すればパソコンも徐々に出来るようになっていました。スクーリングは最低30単位取らなくてはならないので遠方の方は、大変でしょうがどうか最後まで頑張ってください。諦めるってことは、今までのことが無かった事になるので何も残らない、後悔だけです。

レポートの提出に当たっては、先ずどの様に書けば良いのか当時判らず、通信の事務室でとにかく「書いてください。」とのことでしたが、その時は、その書き方が判らないのにと感じていました。後で判りましたが書けば先生が判りやすく添削して下さるので、何故素直にすぐ書けば良かったのにと後悔でした。それと同時にレポートを書く際は、当然得意科目から始めたらと思いました。即合格の場合は、ほっとしますが、不合格ではやはり落ち込んでしまいます。

最後にお世話になった諸先生方、事務室の皆様、感謝と御礼を申し上げます。

---

---

## 掲 示 板

---

---

ます。

これからいろいろな物に挑戦したいです。有難うございました。

### 百合 高子

#### 「卒業に際しての所感」

大学で学ぶと決めてから、6年が経ち、こうして卒業する日を迎えられることを嬉しく思います。仕事と家庭の両立も大変であった時期に、学習することも加え、無我夢中で過ごす日々が、今となっては懐かしく、良い思い出となりました。最初の頃は、どの様に学習すればよいのか分からず、戸惑うことも多く、なかなか勉強も捗らず、挫折しそうな時、大学生活を大きく変えることとなる友達に出会ったことは、人生の宝物になりました。その友達の影響で、教職免許の取得も出来、これから新しい道を進むことが出来ます。

人生山あり谷あり、レポートがなかなか合格することが出来ず、落ち込むこともありましたが、その分、合格した時の達成感、言葉にすることが出来ない程、嬉しい時もありました。「やれば出来る」と自分にいい聞かせながら受ける単位修得試験は、毎回緊張しつつも、勉強することの楽しさを改めて実感することが出来ました。

大学で学ぶということをしていなければ、味わうことの出来なかった緊張感や達成感をこの年になり味わえたことも、宝物です。まだやり残したこともあります。卒業という日を区切りに、更に自らのスキルアップを目指し、日々頑張りたいと思います。

そして、この6年間を支えてくれた家族、友達、職場の仲間、通信教育部事務室の方々にも心より感謝しています。本当にありがとうございました。

#### 「これから通信教育部で学習される方へ」

「出会い」を大切にしてください。学習することの出会い、仲間との出会い、さまざまな出会いがあります。通信教育との出会いから始まり、卒業する日を迎え、新しい扉を開く出会いまで、その間、苦しい事や辛い事もあるとは思いますが、是非たくさんのお出合いを楽しんで下さい。当初、私は学士号の取得を目標に学習することを始めました。しかし、本当に挫折しそうな時、スクーリングで出会った友達に励まされ、教職免許も取得し、卒業することが出来ました。この出会いは、人生の宝物です。

また、学習に際して分からないことは、事務室へ何でも聞くことが大切です。私は最初の頃、聞くことが恥かしく、なかなか事務室へ電話をすることも出来ませんでした。分からないことをそのままにしておくのではなく、行

---

---

## 掲 示 板

---

---

動に移すことも大切です。とても親切に教えて下さり、スクーリングで学校に行った際に、名前を覚えて下さっていた事は驚きました。この出会いも私にとっては大切な出会いでした。

皆さんも、状況はさまざまではあると思いますが、是非卒業の日を迎えられる様に頑張ってください。そして、常に向上心を持ち続け、日々一歩ずつ前進してください。私も卒業がゴールではなく、これからも邁進していきたいと思っています。

### 矢野 洋子

#### 「卒業に際しての所感」

私は編入時からカナダで生活をしており、スクーリングや試験を受ける事が困難で、単位修得にはかなりの時間を要しました。また参考資料の入手が難しかったり、レポートの書き方が分からなかったりと、勉学へのモチベーションを保つのに大変苦労しました。その為、初年度は全く単位を取ることができませんでした。しかしレポートを書き始めると、徐々に書き方やまとめ方のコツが分かり始め、また試験を受けることで、単位を取得する喜びと達成感を味わうことができ、自己への励みになりました。スクーリングでは良き友達とも出会うことができ、講義では日本の「経営」や「経済」などを勉強し、北米との経営方針の違いなどにも気づくことができ、とても良い勉強になりました。

修学中、スクーリングに参加する為に仕事を休んで長期で帰国したことや、出産や育児で、思うように勉強に時間を費やすことができなかったことなど、大変なコトもありましたが、今となれば良い思い出となっています。今後は、「経営」や「マーケティング」などをより深く勉強するために、大学院に行きたいと考えています。本学で大卒資格を取得する事ができ、将来におけるチャンスを広げる事ができたことを嬉しく思っています。

最後に、お世話になった先生方、事務職員の皆様、有難うございました。いつも親切・丁寧にご指導して頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。今後の皆様のご健康と大阪学院大学のますますのご発展を心より願っております。

#### 「これから通信教育部で学習される方へ」

編入当初は、学習計画を全く立てておらず、仕事や日々の生活を理由に通信の勉強の方がついつい後回しになっていました。そこで自分の学習計画を立て、さらに5～10年先の将来の設計図を立ててみました。するといつまで卒業しなくてはならないのかという目標が具体的にになり、勉強が効率良く

---

---

## 掲 示 板

---

---

進むようになりました。

通信で勉強されているほとんどのの方が仕事や家事との両立で、時間的な余裕がないと思います。自分に合った「計画」を立てることで、目標ができ効率よく勉強できるのではないのでしょうか。また、スクーリングに参加することで良き学友と出会い、勉強法や悩みをシェアすることができ、学習に対するモチベーションを保つことができるのではないかと思います。様々な思いで通信教育を受講されているかと思いますが、無理をせず自分のペースで充実した時間を過ごして下さい。

### 吉田 愛理

#### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私は5年前に大阪学院大学の通信教育部に入学し、今年の春にやっと卒業できることを大変嬉しく思っております。

通信制での大学の勉強は思っていた以上にとっても大変で、入学した当初はどう勉強を進めていけば良いかもよくわかりませんでした。しかし、通信教育部での学習を1年過ぎた頃から、徐々に自分の勉強ペースをつかむことができ、着々と単位を取得することが出来ました。

私は大阪学院大学の通信教育部で学習したことで、専門的な知識以外にも以下のような多くのことを得ることが出来ました。

通信での勉強は、課題に対して自分で教科書や参考文献を読み、内容を理解しないとレポートが書けませんので、人に頼らずに自分で調べ、考え、理解し、まとめるという力がしっかり身につきました。これは卒業した後も活かしていきたいと思っております。

また、通信での勉強はレポートの量も多く終わりが中々見えずにやる気を失うこともありましたが、しっかりと自分で計画を立てて、決めたことを決めた日までに必ずやり遂げるようにしました。そのおかげで、大阪学院大学の通信教育部に入学する前と卒業を迎える今では、目的や目標の為に計画通りに必ず達成するという意志の強さが全然違います。通信での学習を通して、自分に厳しく意志がとて強くなったと思っております。また、仕事をしながら勉強をしておりましたので、時間の使い方も今ではとても上手くなったと思っております。

私は卒業をした後も、まだまだ勉強していきたいことがあるので、通信で得た力を活かして、これからも自分の為に時間を上手く使い、多くの知識を得てこれからの仕事に活かしていきたいと思っております。

最後に、これから通信教育部で学習される方々、通信での学習は通学と比

---

---

## 掲 示 板

---

---

べると、とても大変だとは思いますが、自分の気持ち次第でスムーズに学習でき、単位も取得できると私は思っております。最後まで諦めずに、頑張ってください。

卒業を迎える頃には、大学で多くの専門的な知識を身につけるだけでなく、様々な意味で大きく成長できると思います。

通信制での大学の学習は、自分に厳しくないと続かないと思います。常にモチベーションをあげて頑張ってください。

私は、通信制の大学を選び、学習することが出来たことを本当に良かったと思っております。

ありがとうございます。

### 井戸垣康博

#### 「卒業に際しての所感」

2008年4月に1年次で入学し、4年で卒業することができました。「5、6年で卒業できたらいいな」と考えていたので望外の喜びです。

私が大学で学ぼうとしたのは、二つの理由がありました。一つは日商簿記2級を取得したので、もっと会計を知りたいと思ったから、もう一つは子育てが一段落をし、「もっと勉強をしたい」という気持ちに駆られたからです。しかし、本当に勉強が続くか不安でしたので、職場には黙っていました。大阪学院大学は、休日のスクーリングがあるので、その点ありがたかったです。金曜日の仕事が済んでから、深夜0時鳥取発の高速バスに乗り、朝5時に大阪に到着し、始業までは早朝営業の銭湯などで時間をつぶす、と肉体的には結構ハードでしたが、「これから勉強できる」という思いと、ちょっとした旅行気分もあり、いつもわくわくしていました。スクーリングは気持ちに張りりができ、とても楽しいものでした。また通信科目も楽しいものでした。教科書や参考書を読むと新たな世界が開け、さらに課題に取り組み、先生の指導を受けることができ、どの科目も啓発させられました。

楽しく学生生活を過ごせたのは、先生方の熱心な指導と、事務の方の適切なアドバイス、そして学友の存在があったからだと感謝しています。大阪学院大学で学んだことを契機に、さらに研鑽していきたい(目標は大学院!)と考えています。

#### 「これから通信教育部で学習される方へ」

通信教育での学習で重要なことは、いかに気持ちを切らさずに継続していくかです。そのためには、学習パターンを確立して、学習を生活の一部とし



---

---

## 掲 示 板

---

---

ていくことが効果的ではないかと思います。私の場合、最初は手当たり次第だったので学習するのに疲れを感じることもありましたが、段々とパターンができてきて楽になりました。学習方法のパターンは、概ね、まず、教科書を読む、図書館で参考書を選ぶ(入門書的な薄い冊子2冊と教科書と同程度位の内容の冊子3冊程度)、教科書と参考書を読み課題を解く、回答のピントが外れていないか確認する、でした。また、試験については、試験の1月前位に回答案を作成して、2週間かけて、繰り返し内容確認を行い、直前の2週間は暗記するようにはしていました。学習時間のパターンは、毎朝4時(冬場は5時)から7時までと、昼休憩、休日の昼間を基本としていました。(もちろん、このとおりできないことは多々ありましたが。)レポートは楽しんで作成するように、試験は単位取得を励みにするよう心掛けました。

卒業までの4年間は長く思えますが、実はあっという間に過ぎます。どうぞ勉強する楽しさを堪能してください。

松浦 卓也

### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私は2008年4月に入学し、今春、無事卒業を迎えることができました。大変嬉しく、達成感と満足感で一杯です。偏に、お世話になった教職員や学友の方々のおかげであり、この場を借りて、心から感謝とお礼を申し上げます。

通信教育で学ぼうと思った動機を振り返ると、私自身、高校卒業と共に、当時の環境から就職を選びましたが、日々仕事を進めていく中で勉強不足を感じていました。また、就職してから日商簿記1級を独学で勉強していましたが、内容の意味が理解できず、途中で挫折してしまいました。そこで、仕事を続けながら簿記会計を理論的に学び直し、さらには、教養も身につけたいと思い、大学通信教育について調べていたところ、見つけた学校が大阪学院大学でした。この大学は、高校時代に学んだ商業の知識を活かすことができる点でも、自分に合っていると思い、受験しました。

通信教育の4分の3は、テキスト学習によるレポート提出であるため、自ら積極的に学ぶ姿勢と学習計画が必要だと感じました。そこで私は、年度始めに単位修得試験の日程、シラバス等を参考に、年間の学習計画を立てて実行に移すことを心掛け、それが計画倒れに終わらないよう、仕事が終わって帰宅したのち、1日1時間はテキスト学習を進めるように習慣付けました。しかし、実際には専門用語の意味がわからないことも多々あり、休日を利用して図書館で本を借りたり、インターネットで調べたりしながら理解を深め、こうした学習スタイルで、レポート作成や単位修得試験に臨みました。

---

---

## 掲 示 板

---

---

残りの4分の1であるスクーリングは、仕事の都合上、年2回（秋・冬）のみの参加でしたが、教員から直接講義を受けることができる貴重な機会でした。キャンパス内は綺麗に整備されており、職員の方々のバックアップもあるため、良い環境の中、前述のテキスト学習では味わえない充実したキャンパスライフを送ることができました。また、スクーリングは、同じ目標をもつ仲間と情報交換をしたり、励まし合ったりすることができる場でもあると思えました。私が情報交換をするようになったのは、ドイツ語の授業がきっかけです。そこで知り合った仲間と、レポート課題の内容や単位修得試験対策について情報共有し、わからない点等は教え合うことで一層理解を深め、互いに切磋琢磨しモチベーションを高めることができました。

今後は、この大学4年間で培った主体性・計画性、そして、それによって身につけることができた専門知識・教養を、仕事や日常生活に活かしたいと思えます。また、入学前に取り組んでいた日商簿記1級の勉強にも再挑戦し、さらなるスキルアップを目指します。

通信教育部で学習される皆様は、人によって目的やライフスタイルが異なるため、「正しい学習方法」というものが存在しません。ただ、共通して言えることは、自分に合った学習方法を見つけ、それを確実に実行することだと思います。皆様が自ら立てた目標を達成できますよう、心からお祈り申し上げます。

### 谷口 彰平

#### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

2008年4月に入学してから、あっという間に4年の月日が経ち、今春無事に卒業を迎えることができました。小売業のSCM部に勤務しており、入学の動機は仕事に必要な知識の幅を広めたいという単純なものでした。米国で取得した単位の認定は出来ないとのことで1年次への入学となりました。入学前は、仕事との両立が出来るのか、試験に合格出来るのか、それより何よりも学習をする時間を取れるのか、という様々な心配がありました。もともと仕事で忙しく、出張も多かったので、当初より土日にしか学習の時間を取れないであろうことが分かっていた為です。その様な中で恐る恐る学習を始めて、最初のレポートを1日ばかりで書き上げた時の充実感は今でも忘れられません。今になってそのレポートを読み返してみると稚拙なところが数多く目立ちますが、当時は自分なりの考察も上手く書けたと思い、張り切ってレポートを提出したところ、考察が広がりすぎと教授より赤ペンチェックされて返ってきたのは良き思い出です。スクーリングでも、卒業という同じ目

---

---

## 掲 示 板

---

---

のを持った様々な方と交流をすることが出来、これもまた良き思い出で、学問以外のすばらしい勉強をさせていただいたと思っています。

今後は通信教育部で得た知識を仕事で活かせるようにしていくのももちろんですが、もう少し学問を続けてみたいと思っています。社会人対象の夜間大学院で物流に関する勉強と研究をしたいと思い、入学試験用のレポートを書き始める為に、文献を選び始めたところです。学習の進め方やレポートの書き方の基礎はみっちり経験を積めたと思っていますので、心折れることなく達成をしたいと思います。私がこのように思えるようになったのも、教授陣を始め、事務局の方々や在学中に交流をさせて頂いた皆様からよき影響を与えていただけたことが大きいと感謝しております。本当にありがとうございました。

### 「これから通信教育部で学習される方へ」

文献を読み、レポートを書き上げるという作業はとても大変なことです。わからない事も多々あり、時にはレポート課題の意味を理解するのに時間がかかったりする事もしばしばあると思います。何よりも時間の制約があると思います。その様な状況下で心が折れそうな時は、入学した意味と初心を思い出してほしいと思います。負けそうな心にうち勝って下さい。一度レポートを書き上げてみると、学習のリズムが出来あがり、意外とはかどるようになり、楽しんで学習できるようになると思います。最後になりますが、必ず卒業するという信念を持ってあきらめずにやり抜いて下さい。応援しています！

高取 英人

### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私の入学動機は、現在の仕事のなかで達成感や充実感を得ることが難しく、また家庭の事情などから「何かに挑戦しなければいけない」「新たに道を開きたい」という思いがきっかけでした。当時はこのような思いも漠然としたもので、実際に具体的なものはなく、現状を打破できないままでした。そんななか恩師の勧めから大阪学院大学での通信教育の存在を知り、不安もありましたが、是非挑戦してみたい、「4年間という長い戦いになるが、仕事との両立を維持して何とか卒業を達成し、次へのステップに繋がりたい」という思いを強くしたことを覚えております。

私の場合、諸事情から最短での卒業を目標にしておりましたので、4年を

---

---

## 掲 示 板

---

---

リミットにして「それ以上はない」と自分に言い聞かせてスタートしました。そして少々強引なやり方ですが、周囲にそれを公言して自分自身にプレッシャーをかけて自分への甘えを断ち切るように努力したつもりです。もちろん家族や周囲の支え、学院の先生方や事務の方々に助けていただいた事も大きな力となり、何とか当初の目標を達成することができました。その結果、自分への自信と協力してくださった方々への感謝の気持ちを得ることができましたが、同時にやり通せたという思いから脱力感も正直なところ感じております。

今回この通信大学生活での4年間のなかで、様々な分野の勉強をさせていただき、今までの自分より、大きな視野と色々な角度から、これからの自分の進むべき道を考える力を身につけることができ、入学当初より明確に将来のビジョンを描くことができるようになったと思います。そしてこれからがまた新たなスタートであることを再認識し、緊張感を高めなければいけないと思っております。

これから入学される方は、各々事情が異なり、目的やペースも様々であると思いますが、自分のなかで可能であると決定した目標に対しては、決して諦めることなく、目標達成を現実のものにしてもらいたいと思います。そのためには、体調管理を含む、自己管理が大切であり、もちろん「根気」が必要です。また私の場合、計画に少し無理があり、結果的に目標とする最後の年に全力疾走する形になってしまったので、非常に苦しかったことから、ありきたりですが、やはり最初に、レポート科目（提出期限）試験日程、スクーリングなどを含め、無理のない計画を立て、なるべくその計画通りにコツコツ進めることが一番の近道であると思います。また疑問点や不安なことは、早期に解決することも重要であると思います。

入学して不安も大きく、苦しい時もあるかとは思いますが、是非自分に勝って目標を達成し、新たな夢や希望を叶えるためにがんばって下さい。

### 田中浩一郎

#### 「卒業に際しての所感」

平成21年4月に本学の2年次に編入学し、この度3年間の年限を終え、卒業させていただくことになりました。現在、私は裁判所の職員をしており、採用以来22年余となります。その間、書記官又は事務官として、各種法令を学び、事件関係や司法行政関係の種々の文書の作成等の仕事をしてまいりましたが、その経験が役に立ったのか、レポートや試験では、ほとんどの科目で一発合格を頂き、入学から約1年8箇月（2年目の秋期スクーリング）で卒業に要する単位を修得することができました。そして本学で経営学・商学

---

---

## 掲 示 板

---

---

関係の多くの科目を学ぶことを通じて、実業社会への目が見開かれたと思います。スクーリングでは先生方の懇切丁寧な御講義に接し、僅かながらでも「自分は大阪学院の学生なのだ」と大学生気分を味わうことができました。本学卒業とともに「学士」の学位を頂くこととなりますが、いずれはどこかの通信制大学院に入り、「修士」を目指したいと考えています。

### 「これから通信教育部で学習される方へ」

効率よく単位を修得する第一歩は、各履修科目のシラバスの熟読だと思えます。シラバスにこそ、先生が学生に求めることが書かれてあるからです。シラバスの記載から、テキストの読み方、目を通すべき参考文献、試験勉強のポイントを読みとることができます。レポートでも試験の答案でも、とにかく、(シラバスで)先生が求めていることを書くことが、言い換えれば、先生が学生に理解してほしいと思っていることをよく理解していますよとアピールすることが、「合格」を勝ちとるために重要だと思えます。そのためにはテキストの文章を表現ぶりもそのままに書き写すのではなく、自分の言葉で言い換えることが、自分の理解の程度を先生にアピールする方法として有効です。私の場合、大半の科目で参考文献を2、3冊読み、巧いフレーズや説明の仕方を見つけると、自分なりの表現にしてからレポートに使ったりしました。また、単位修得試験の勉強方法は、シラバス、テキスト等を参考に出題候補問題の答案メモを各問1,000字程度で作成し、これをそれぞれ25回以上音読して丸暗記する、というものでした。試験当日はその記憶を答案用紙に書き写すだけになりますが、この方法により9割以上の科目で「優」が取れました。

しかし、卒業を迎えて改めて、「早く卒業することは本当にいいことなのだろうか」と思ったりします。確かに前記のような方法で単位は順調に揃いましたが、勤務しながらの状況でもあり、レポート課題や試験の出題範囲はとことんやるが、それ以外の部分の勉強は多くの科目で犠牲にし、せっかくの勉強の機会を自ら随分制約してしまったなあと今更ながらに思います。レポート課題や試験範囲に拘らず、テキスト全体を繰り返し丁寧に読むほうが、単位を揃えるのが少々遅れたとしても、結局は勉強になることはいうまでもありません。本学での経験を基に、今後の自分の勉強スタイルを再検討したいと思えます。

以上について、一事例として御参考になれば嬉しいです。ちなみに、私がレポートや単位修得試験で不合格を頂いたのは、全て共通科目でした。

---

---

## 掲 示 板

---

---

中瀧真粧美

### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

平成9年4月に2年次編入学してから卒業までの道のりは、短かいようで、長いようで、今思えば楽しいものでした。

今から20数年前、他の大学の通信課程へ入学しましたが、その間の結婚、出産などで、一時的に体調を崩してしまい、結局、退学せざるを得なくなりました。

そして、その子供も大きくなり、自分のことを考えるゆとりも出来て、その時、やはり気になったのが『大学卒業をしたい』と、言うことでした。

その時、色々な大学の資料を取り寄せて、目に留まったのが、ここでした。まず、家から近くでスクーリングも参加しやすいこと。そして、学費の安さでした。

早速、入学して、テキストが届いて学習を始めると、久しぶりのレポート提出なので、なかなか上手にまとめられず、苦勞しました。そして、何度か不合格になり、書き直しをしたこともあります。

しかし、先生方の不合格レポートの良くない点、修正すべき点等の講評に沿って書き直していくにつれて、その科目をより深く理解して、おもしろさに気づかされることも、数多くありました。

テストは、とても緊張しましたが、スクーリングは、常に楽しく、すっかり大学生になって、青春、という気分でした。

卒業して、あの気分をもう味わえないのは残念です。

これから学ばれる方は、一人でレポートを書くのは大変ですが、スクーリングに行ったら、ぜひ、大学生気分を味わって下さい。そして、校内で感じる季節のうつろいを楽しんで下さい。樹木が多いので、季節がよくわかります。あとは、知り合いを見つけて、スクーリングで情報交換して下さい。新しい発見がありますし、楽しいです。

最後になりましたが、先生方、事務室の皆様、色々と教えていただきありがとうございました。おかげさまで、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

---

---

## 掲 示 板

---

---

田中 竜二

### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私は、この大阪学院大学の系列校であるAST関西経理専門学校の夜間部で学習し、卒業後、この大学の通信教育部に3年次編入というかたちで入学しました。

仕事をしながら専門学校に通っていたのですが、その在学中に通信制大学の存在を知り、働きながら大学に通えるということに魅力を感じて入学を決意しました。

2010年の4月に入学してから、2年間で卒業に必要な全ての単位を取得することができましたが、最初はレポートの作成方法もよく分からず、半年間は手付かずの状態でした。その後、これでは駄目だと思い、専攻科目の教科書を何回も繰り返し読んで熟読し、参考文献で紹介されている書籍を図書館で借りてくるなどして、課題への理解を深めることで、なんとかレポートを組み立てていくことができました。それに行き詰まったときには、先生方に質問をすることで、親身になって丁寧に教えていただき、レポート作成のヒントやアドバイスをいただけたおかげで、レポート課題を一つずつクリアしていくことができました。

スクーリングにおいては、秋期・冬期は土日ごとに受講できることで、時間の調節もしやすく、約2週間という長い期間に渡るため、最終日の単位修得試験までの勉強時間も確保できました。また、実際に大学に出向いてみて感じたことは、受講されている方々の年齢層の幅広さに驚きました。特に年輩の方も一生懸命勉強されているのを見て、何歳になっても目標に向けて頑張っている姿が大変刺激になりました。

私は以前専門学校で、簿記・会計を中心に、経営、税法に至るまで基礎から勉強しました。そして本学での学習は、それをより深く理解することができ、また、商法や医療・福祉経営情報論、マーケティング論についても学習した結果、自分の持っている知識が広がったと実感しております。私は会計事務所で働いていることもあり、仕事においても今後の人生においても必ず役に立つことと思います。大学卒業という目標を達成した今、次の目標として、税理士資格の取得に集中して頑張ります。

最後になりましたが、多大なご指導をいただきました諸先生方、手続等でお世話になりました事務室の皆様、そして大阪学院大学に心から感謝しております。本当に有難うございました。

これから通信教育部で学習される方に私から伝えたいことは、とにかく意志を強く持つことです。最終的な目標に向けて、一つ一つ課題をこなしながら進んでいってください。困難はあると思いますが、周りには協力してくれる

---

---

## 掲 示 板

---

---

先生方や励みになる友達もいるはずです。  
強い気持ちでお互いに頑張りましょう。

### 西尾 敦子

#### 「卒業に際しての所感」

2010年4月に3年次編入で入学しました。大学資格のない私は資格がないことに頭のどこかでコンプレックスとしてありました。看護師をしていて大卒なんて関係ない、看護師としての知識や技術、経験があれば大丈夫だと思っていました。しかし、今後は看護師も大学卒業資格がないと国家試験が受験できない状況へと推移していくと上司より聞き、上司の勧めで大学に行くアドバイスを受けました。大学なんて今更行けるはずもない、頭の固くなった自分にできるのだろうかという大きな不安がありました。そこで、まずは自分にできるものを探しに通信大学説明会へ参加し、当初は福祉系の学部を考えていました。そこには、なかなか思うような大学が見つからず、諦めていたところに、ふと大阪学院大学に立ち寄りました。流通科学部は畑違いです。担当者の方に親切に御説明を戴き、ここで違う分野を勉強してみようと思いました。入学するに至り、目標として2年で卒業を目指しました。まずはレポートの提出でした。どのように教科書を活用し勉強を行えば良いのかわからず手探りの状態でした。諸先生方の御指摘を受けながら再提出を行い、合格の文字を見て喜び、更に「良く書けていました。」「良くまとめられています。」等のお言葉を頂けるととても励みになり、次も頑張ろうという気持ちになりました。休日は勉強の時間に充てる事が苦痛ではなくなり、知ることが楽しくなり、集中して勉強することができるようになりました。また、夏・冬のスクーリングは私にとって大変貴重な時間と経験になりました。初めての大学での講義、うれしくもあり、不安もあり、緊張した時間でした。自分で勉強するには限界が有る中で、先生の講義を聴くことで今までの点と点が一つの線でつながり、納得、理解できる事が多々ありました。また、講義に対して一人で不安に思っていると、声を掛けてくれた人が今ではかけがえのない大切な友人となりました。その友人と「一緒に卒業しよう」という目標を立て、レポートや単位修得試験を頑張れる大きな原動力になりました。一人で頑張ることは限界があり、友人という支えがあると心強いと感じました。それだけではなく、職場の上司の理解や、試験監督の先生の御配慮など、様々なところで卒業する糧になりました。大学で学ぶということは自分自身の為だけでなく、人との交流や他の分野を知り視野を広げることになり、自分自身の向上心につながりました。そして、人として成長をさせてもらえる場所でした。それは周りの方々のお心添えがあるからだ感謝するばかりで



---

---

## 掲 示 板

---

---

す。ありがとうございました。

**榊原隆一郎**

### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

まず、今回大阪学院大学通信教育部を卒業するにあたっての所感を述べていく。

本学の通信教育を受講する事にしたきっかけはAST関西医科専門学校にて理学療法士の学習をはじめた事であった。理学療法士の世界でも、高齢化という日本の社会の変化、それに伴う医療制度の変化により、求められてくる人材が、単に医学的な知識や技術がある事から、地域社会での関わりの中で何が出来るとかという広い視野を持てる事が重要になってきている。その中で医療人として学士号の資格を有していれば、修士・博士と自分のキャリアをステップアップするチャンスを得る事が出来ると思いついて受講するに至った。

実際に受講していき、通信教育の難しさもあった。基本的に通信教育は、何か別の事をしながらという方が多いと思うが、その時間作りも効率よくしなくてはならない。さらに、専攻する科目も、商業学、簿記、経営学、税法など、自分にとって無知に等しいものであったので、テキストの理解には時間がかかったと感じる。しかしそれらの分野の学習は自分にとって新鮮なものであり、自身の考え方の幅が広がったと感じる。特に自分にとって興味深かった科目は、経営学である。今自分は理学療法士として、病院に勤務している。理学療法は、セラピスト個々が治療に対して独自の考え、手技を持っている事が多く、個人事業主の集まりだと例えられる事もよくあるが、それでも病院という組織の中に属しているので、その中で役割を果たしているといえる。経営学でのインセンティブシステムの講義は、自分がなぜこの病院に就職を決めたのかが改めて分かった。また計画システムコントロールの講義は、理学療法の中長期的な評価方法にも通じるところがあり、とても勉強になった。また将来自分がチームのリーダーとなる事があれば、経営学で学んだ事は、参考にしたいと思う。

当初、学士号という資格をとるためという気持ちが強いのであったが、様々な専攻科目はとても興味深く、自分の知識や考え方を広げてくれた。

これから通信教育部で学習される方も大勢いらっしゃると思う。自分の様に学士号修得のために受講される方、ある専門分野の知識を広げるための方、学習する事は何でも好きな方、様々な方がいらっしゃると思う。

本学での通信教育は、スケジュール的にも無理が少なく、先生方の講義も分かりやすいので、充実した学習が経験出来ると思う。

---

---

## 掲 示 板

---

---

また自分は使う機会が少なかったが、図書館など設備面も充実しているので活用し、有意義な経験にして欲しいと願う。

山口 暁人

### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

今から4年前、平成20年に私は大阪学院大学の系列校である関西医科専門学校に入学しました。入学してすぐに大阪学院大学での学士号取得の説明を受け、就職や今後の選択肢の幅が広がればとの思いで、学士号の取得を目指すことにしました。

専門学校での3年間は理学療法士になるための専門的な勉強と並行して、科目等履修生としてレポート提出やスクーリングを行いました。高校は普通科を卒業した私にとって、理学療法に関する専門的な知識を学ぶことと同時に、それまで触れたことのない商業学や経営学、会計学、簿記、原価計算、税務会計などを学ぶことは簡単なことではありませんでした。しかし先生方の指導のもと、少しずつ内容を理解していったことで達成感を味わうことができたのです。また医学一般や病院経営会計など医療に携わる職業を目指す者として役に立つような科目もあり、経営的な面から医療を考えるとということで非常に興味深く学ぶことができました。長期休暇の間に通ったスクーリングでは、他の同級生は休暇中なのだという思いもありましたが、教員の方と教室にて授業を受けることができ疑問点をすぐに質問できるなどとても解かりやすかったです。また一緒に学士号取得を目指す同級生や他の学生の人たちと授業を受けることで、普段と違った雰囲気を感じることで参加してよかったと思いました。専門学校を卒業後は大阪学院大学に編入し、理学療法士として働きながら単位修得を目指すようになりました。

専門学校時代の科目等履修生や、就職後の大学への編入での勉強を進めることは、私にとって難しいこともありましたが、高校や専門学校では教員の先生方の指導をすぐに受けることができ、後押ししてもらえる環境でした。通信教育では自主的に勉強を進めることが基本であり、レポート提出の期限や単位修得試験にあわせて計画的に勉強を行うことに最初は戸惑いを感じました。色々と先延ばしにして期限ギリギリにあわてることもありましたが、そういった中で、少しずつ計画的に物事を進めていくことを学ぶことができたのです。就職1年目で周りの環境に慣れることに精一杯だった私が、働きながらも単位を修得できたのは、自分をコントロールして計画的に物事を進めることを学ぶことができたからだと思います。またこのことは、日々治療技術や知識を勉強していくことが必要な理学療法士としてとても大事なことで、

---

---

## 掲 示 板

---

---

専門学生時代に学ぶことができよかったと心から思います。

最初は、就職や今後の選択肢の幅が広がればとの思いで目指した学士号取得でしたが、社会に出るうえで必要なことを学ぶことができたと感じます。学士号取得を目指す過程で、多くのことを学ぶことができたので、通信教育を選択してよかったと思います。

### 藤本 隆司

#### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

このたび、無事に卒業面接試験を迎えられることをうれしく思っております。私の場合は、専門学校と本校の通信教育部を同時に受講しており、卒業に必要な単位も専門学校と通信教育部の2つを合わせて取得しました。私が、この通信教育部を受講しようと思った理由は、学士という学位を取得するためが主な目的でした。専門学校で受講している理学療法士という職業は、実際の臨床と研究との2つに分かれることが多いです。研究の方は、博士等の称号を取得するためには学位を持っていないと博士の課程を受講することが出来ません。実際に理学療法士になったら、私が臨床現場に行こうとは思っていますが、何かのきっかけで、研究の方へ進む可能性もあると考えておりました。その時に、学士という学位を修得していないと、研究という道に進むのが1つ遅れるかもしれないと考えました。今回の卒業面接試験まで、様々な経済に関係することを学ばさせていただきました。学んだ量は、昼間部の学生と比べると非常に少ないと思いますが、その中でも1つの知識として身に付く部分も非常に多くありました。今後、社会で生きていく中で、知識の1つとして役立てることと思います。

これから通信教育部で学習される方へ、私と同様に受講される方は、他の学生と比べて大学で聞く専門的な話は解らないことも多く、理学療法士という優先的に学ぶ必要があるものがあると思います。実際に理学療法士として働いている現状では、今回の通信教育部の中で学んだ部分も関係は大きくあると思います。医療職種といっても、社会に出て生きていくためには、経済に関係することは必然です。しかし、専門学校では理学療法士としての知識以外の面で学ぶところは少なく、実際に自分が体験することで学んでいくことが多いと思います。私自身は、1度社会人を経験しており、新卒生と比べると社会としての知識は多少あると思っています。社会で学ぶことは、このような原理とどかではなく、こうするという形で教えてもらうことが多く、自分自身も理解できないため、こういうものという理解をしてしまうことが多かった印象があります。通信教育部での学習は少なかったですが、その中

---

---

## 掲 示 板

---

---

で自分が社会人として特に深く考えずに行ってきたことや行われていたことに関して、簡易ではありましたが、説明があり、社会の各部署での仕事の難しさなども学べました。また、医療職種だからと言って、経済に関して関わらなくていいということも実際に理学療法士として働いて知識はあった方が良く感じました。今後、本校の通信教育部を受講される学生は、私と同じような立場でされる場合は、大変であると思いますが、自分の知識向上のために余裕がある方は受講した方が良く感じました。

最後になりますが、色々大変なこともありましたが、無事に今日を迎えられ、また本校で様々なことを学べて良かったと感じました。

### 瀬戸菜津美

#### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私がこの大阪学院大学通信教育部に入学してから4年が経ち、今回卒業を迎えようとしています。

私がおこへ入学するきっかけとなったのは、母が、本校の系列校である専門学校への進学を勧めてくれたことでした。私は高校卒業後、理学療法士の資格を取得できる学校への進学を決めており、当初は大学進学を考えていました。しかし、大学では4年間で資格取得が可能であることに對し、専門学校では3年間で資格取得が可能ということもあり、進学先に悩んでいました。その時に、専門学校に通い、理学療法の勉強をしながら、学士号の取得ができることを知り、系列校である専門学校に入学し、通信教育部での学習をすることに決めました。学士号を取得したいと思った理由としては、大学卒業と専門学校卒業では待遇の違う職場が多く存在し、将来のことを考え、大学卒業という目標を成し遂げたいと感じたからです。

私は、専門学校入学と同時に通信教育部での学習を始めました。小・中・高の学生時代は、部活に明け暮れ、全くと言っていいほど勉強をしておこなった私にとって、当初は、通信教育部のリポートやスクーリングと専門学校の勉強との両立が厳しく、嫌になる時期もありました。しかし、リポートの合格通知が届くたびに、学士号取得にだんだんと近づいていると感じ、学習意欲が湧き、計画的に学習が出来るようになっていきました。今まで嫌々勉強させられていた私にとって、自ら計画を立て、行動できたことが一番の成長だと感じています。

現在は、無事に専門学校を卒業し、社会人1年目として、忙しい日々を過ごしております。卒業してからは、学生時代よりも、リポートに割く時間が少なくなり、卒業に必要な単位取得が可能か不安でしたが、諸先生方、職員

---

---

## 掲 示 板

---

---

の皆様、クラスメイトの方々の助けもあり、試験合格や単位の取得をすることができここまですることができました。

最後になりましたが、教職員の方々、通信教育部の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

これから通信教育部で学習される方々は、人それぞれ様々な目標を持って入学されていると思います。仕事と学習の両立は、大変だと思いますが、少しずつでも、学習時間を作り、目標に向かってコツコツと進めていってください。焦らず、自分のペースで、レポート提出やスクーリングを受講して単位修得を目指していってください。

石川 美帆

### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私は、専門学校に入学した1年次より、通信教育部での学習を始めさせていただきました。高等学校を卒業して社会生活を送る中、自分は何をして生きる糧を得ながら生活していきたいのか、と考え、専門学校へ入学したのが4年前になります。人に求められる職を一生続けていきたいと考え選んだ進路でしたが、おそらく学業に専念できるのは今の期間だけであろうとも思っていました。その専門学校で、同系列である本学にて知見を広げる機会を得られると聞き、大変嬉しく思ったことを今でも覚えています。

初めて作成するレポートに苦労しましたが、スクーリングでの受講など、先生方が基礎からしっかりとわかりやすく教えてくださり、途中で投げ出すことなく続けることができました。また、諸手続きやレポート作成を通じて、小さな事かもしれませんが、1つ1つの物事の成り立ちや流れ、そこに関わってくださっている人たちの存在を感じられたことも、私にとっては財産となったように思います。

現在は無事に専門学校を卒業し、理学療法士として病院に勤めておりますが、改めて社会は、専門性だけでなく幅広い視野を持ちながら多角的に捉えなければ見えてこないことが多くあるのだと感じています。専門的な知識を深めるとともに、全く知らずに過ごしてきた他専門分野に関しても、わずかに掴んだ知見を、今後も広げていきたいと思っています。

通信教育部での学習においては、計画性と行動力、あきらめない気持ちが必要られるように思います。この部に入学されるほとんどの方が、仕事をしながらの学習になるのではないのでしょうか。私も当初は専門学校での学業との両立、最後の1年は働きながらの学習となりました。比べてみると、やはり働きながら学習した期間の方が大変に感じます。病院の同僚の協力や、家

---

---

## 掲 示 板

---

---

族の支えがなければ、ここまで辿り着くことができなかつたように思います。日々時間に追われる中、受講等の時間的束縛が少ない中で継続するためには、自分自身で意欲を高め続けることが必要になります。何より、続けることが大切です。どうぞ入学時の初心を忘れずに、頑張ってください。応援しています。

最後になりましたが、親切丁寧にご指導くださった大阪学院大学の先生方、わからないことがあるたび細かに対応してくださった事務職員の方々、ともに学び励みあった学友、そして時に厳しく、また優しく導き支えてくださった系列専門学校の先生方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### 出井 宏典

#### 「卒業に際しての所感および、 これから通信教育部で学習される方へ」

私は、高校時代に部活動に明け暮れており、いざ、進学か就職かと悩んだ時に、部活だけしていた私には就職は無理だと思い、専門学校へ行き、商業を専門的に学ぼうと決心しました。そこで短大の通信教育に出会いました。どうせ1から勉強するのならと学歴ほしさに短大の通信教育も学びました。

そして短大も無事卒業が決まり就職の時期になりました。実家から通える所が希望だったので、地元の企業に就職する事にしたのですが、田舎の企業は高卒が大卒という枠しなく、当時地元の大企業といわれる所は2社程しかなかったので、渋々高卒扱いで入社する事にしました。そして10年後に当時のくやしさをバネに本学の通信教育を始めました。

最初は何もわからなかつたので、まずはスクーリングに行き、勉強しながら情報を集めました。仲間も増えるといろいろな情報交換もでき、わからない事は教え合ったり、参考資料を送ったり、もらったりしながら、勉強を進めていきました。いつの間にか勉強が楽しくなり、理解出来るようになりました。そして単位が取れる度に喜びが大きくなっていきました。

この様に、順調に進んでいる時はよかったのですが、良い事ばかりではありません。祖父母の代から自営をやっていたのですが、春に父を亡くし、冬には祖母を亡くしてしまいました。これで、私は会社員と自営、通信教育と3つの大きな事をやりとげなければならなくなりました。寝る暇をおしんで3つの事をやっているうちに、体がもたなくなり、ついに入院生活をしようになってしまう。体には自信があったのですが、長期間無理をするとはやはり体はもちませんでした。そして後遺症の様な物が残ってしまいました。

---

---

**掲 示 板**

---

---

卒業を目の前にして今はただ、やっと目標が達成出来たという満足感だけが強くあります。とにかく入学当初の希望や目標は忘れて無我夢中で学びました。

これから通信教育部で学習される方へ私から伝えられる事は、自分なりに計画を立てて学ばれた方が良いと思います。計画より進んでいけば心にもゆとりができ、楽しく学ぶ事が出来ると思います。遅れていればあせりが出て来て追いつこうという行動が出てきて、積極的に学習するようになります。又、スクーリング等で意見を交わしていけば、ちがった楽しさがでできます。

あまり私の経験はあてにならないかもしれませんが、夢に向かって進んで下さい。そして通信教育部でたくさんの事を学んで下さい。

そしていろいろな事を両立しながら頑張ってみて下さい。

---



---

 掲 示 板
 

---



---

## . 行事予定 ( 6 月 )

日	月	火	水	木	金	土
					1 日本学生支援 機構奨学金 出願書類請求 締切日	2 創立記念日  事務休日
3  事務休日	4	5	6	7	8	9
10  事務休日	11	12	13	14	15	16
17 単位修得試験 ( 本学・学外 )	18 夏期スクーリング 受講申込受付 開始	19	20	21	22	23
24  事務休日	25	26	27	28	29  ( 至6月29日 ) →	30



---



---

 掲 示 板
 

---



---

## . 行事予定 ( 7 月 )

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
事務休日						
8	9	10	11	12	13	14
事務休日	夏期スクーリング 振込証明書 提出期日 教職総合演習 受講申込締切日					
15	16 海の日	17	18	19	20	21
事務休日	事務休日					
22	23	24	25	26	27	28
事務休日	8月単位修得 試験受験申込 受付開始			夏期(第 期) スクーリング開始 教職総合演習 講義開始	(至7月27日) →	
29	30	31				
	夏期(第 期) スクーリング終了 教職総合演習 講義終了 →	夏期(第 期) スクーリング予備日 教職総合演習 講義予備日				